

みんなで作る花火大会



活動報告書

(2011年5月20日～2012年11月現在)

みんなで作る花火大会 活動のご報告

2011年、東日本大震災と津波、原発事故など日本にとっては非常に深い傷を残す1年となりました。そうした中、地元有志でみんなのつくる花火大会を立上げ、中止が相次ぐ中で花火大会実施を模索しました。

重大な被害を受けた東北とは比になりませんが、我々が生活する湘南地域においてもガソリンスタンドには長蛇の列ができ、計画停電が実施されるなど、震災後の混乱が生活へ与えたダメージは体験した事のないものでした。震災後には自粛ムードが漂い、身近なものから大きなイベントまであらゆる行事がキャンセル、震災1ヶ月後の4月には湘南地域でほとんど全ての花火大会の中止が決定されました。

花火大会の中止決定を知ったときに、こういうときこそ街を活気づけるべきではないのかと、花火大会の開催を模索しました。そして、たどり着いたのがみんなの力を少しずつ集めた「みんなで作る花火大会」でした。

この活動に賛同した地域の企業、店舗からの協賛、店頭募金などで実に3,863,316円もの資金が寄せられました。その他にも当日翌日、また準備段階では多くの地域の方々の手をお借りしました。これらの資金や力を基に2011年9月18日にみんなで作る花火大会を辻堂海岸で自主開催し、2012年8月13日には宮城県女川町において、迎え火の中のプログラムとして花火の打上げを実施致しました。

みんなで作る花火大会を2年にわたり開催、実施できたのは、地元湘南をはじめとした、あらゆる方々に支えて頂いたからです。中には遠方から支援して下さった方もおり、みんなで作る花火大会をご支援、ご協力頂いた方々へは心より感謝しております。

本当にありがとうございました。

みんなで作る花火大会企画委員会

みんなで作る花火大会2011 開催経緯

2011年4月15日江ノ島花火大会の中止が決まり、翌日のタウンニュースの記事でこれを知りました。電気、ガソリン、水、CM・・・震災後は今まで当たり前にあると思っていたものがなくなっていました。そんな中での花火大会の中止。江ノ島だけでなく、周辺の花火大会も軒並み中止が決定されました。当然と言えば当然の流れと言わざるを得ませんが、そんな流れに逆らわなければいけないような気がしたのも事実です。

「今こそ花火」

花火というイベントで街を元気にしたい。そんな気持ちから花火大会の復活を模索し始めました。中止の理由として挙げていたのは主に資金。これをなんとかできれば開催できるのではないかと、そんな単純な発想から企画をスタートさせました。企画を進める中で、思えば花火大会というイベントには役所や観光協会、商工会、地元企業などの方々の多大なる力が結集して開催されているにもかかわらず、僕らは当たり前毎年あるもの、しかも無料で楽しめるものという認識になっていたことに気がつきました。そこで、誰かに頼ってばかりではなく自分たちでやってしまうのもひとつの手、と市民による自主開催を目指すことにしました。

当初の目標は例年通り江ノ島での8月開催でした。資金と人手さえ工面すればなんとかなるのでは、と考えていたのですが実際には打上げ場所の確保、打上げ自体の許可、警察の協力等々解決しなければならない問題が多く立ちはだかりました。他にも花火業者や警備会社との調整など、週一回のミーティング以外にも気付けば毎日のようにメンバー同士顔を合わせるようになっていましたが、どうしても目標通りにはいかず、9月に辻堂で開催する運びとなりました。

活動資金

皆様からみんなでつくる花火大会に寄せられた募金・寄付金・協賛金です。
この活動を続けてこられたのも一人一人の思いの詰まったこの資金のおかげです。
心より感謝申し上げます。

募金

設置箇所100箇所

¥ 330,377

個人寄付金

106人

¥ 1,072,939

協賛金

企業・店舗56

¥ 2,460,000

合計

¥ 3,863,316

活動内容

玩具花火

花火師による打ち上げ花火の他に、ボランティアの方々20名で、手上げによる玩具花火を打ち上げました。設置準備から打ち上げまで全てをみんなで行い、見事に湘南の夜空に一人一人の想いが込められた花火が打上りました。



玩具花火を準備している様子



玩具花火の打上の様

警備

当日の警備は、警備会社の他にボランティアの方々にもご協力頂き、実施いたしました。
総勢169名（ボランティア119名・警備会社50名）の方が参加して下さり、来場者の方の安全を守る重要な役割を担って頂きました。



当日ボランティアの方への説明の様子

打ち上げ花火

花火師さんによる打ち上げ花火。
この花火を湘南の空に打ち上げるために、奔走した日々。

「ドーン」という音と共に、「ワーッ!!」という歓声が。
その瞬間の感動、今も忘れません。
みんなの力で生み出した、最高の瞬間。

本当にありがとうございました。



湘南の夜空に上がった花火



花火師さんによる準備風景

清掃

花火当日も朝から参加して下さっていた方など、翌日の清掃の為に、朝早くから31名もの方が駆けつけて下さりました。

観覧エリア・打ち上げエリア周辺を、みんなで綺麗に清掃しました。



翌日清掃の様子



協賛/協力/メッセージ

企業様、団体様、個人の方からの協賛。
地域の皆様からの募金、募金箱設置やポスター掲出のご協力。
花火大会開催に向けたたくさんの方からのメッセージなど、
皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

○協賛（企業・団体・店舗）※順不同、敬称略

有限会社フォーライフ 東陽株式会社 東海鋼鉄株式会社 株式会社ライト 大安興行株式会社 株式会社翁佳工業 株式会社Tresco 有限会社森井プロパン商会 株式会社水落建設 株式会社高野住装 有限会社松山住宅設備 サンキホーム株式会社 アサヒデザイン企画 有限会社クレアトール 夢中 ワンピース 株式会社小浜土地建物 株式会社MONOS湘南 焼肉げんや	湘栄建設株式会社 Luz 湘南辻堂テナント会 神奴泰典ミュージックスタディ 文化堂印刷株式会社 株式会社JIN 中華料理 馬虎記 CAFE RIN 茅ヶ崎市商店会連合 割烹かわはら 中沢フーズ株式会社 株式会社櫻井興業 辻堂諏訪神社神輿保存会辻堂諏訪睦 辻堂高砂自治会 茅ヶ崎三田会有志 Shabby Blue 新日本宝石販売株式会社 内田商店 湘南タクトホーム株式会社 株式会社やまか Cafe Aroma	株式会社FCC 株式会社ビルメンテナンス湘南リコー ホテルソル藤沢 そば処 さつき ヘアサロン トロワ 中野養蜂園 NEO SURF 飯田デンタルオフィス 株式会社ケンジ 有限会社江ノ島モーターボート 乃羽バレエ 株式会社ランナーズウェルネス 株式会社ゼロプラス LEI SURFING SCHOOL NPO法人地域魅力 ラフ 財団法人藤沢産業振興財団 有限会社ベルグフェルド スナック シルビア ことぶき屋
---	---	---

○協賛（個人）※敬称略

※個人で協賛頂いた方のお名前が振込で確認できるのがカタカナのみの場合、大変失礼とは存じますがカタカナで掲載させて頂いております。

山本真美 クボタ イクミ ヤマモト カツヨシ じえ紗友梨 宝田直樹 伊藤かほり ムラタ サクヤ ノダ イズミ ヨコイ サチ 荒 由公 村上忠相 志村明美 菅原明彦 フクダ アキオ スギウラ マイ 名取由香 ヤマモト ユウタ 岡村光子 中田英子 大坊恭子 落合光恵 佐藤文代	戸辺尊義 横井美代子 宮下春生 加藤美波 中沢康浩 斉藤 昇 島野 ふみ 井手上佳耶 寺部 徹 五十嵐恵子 秋山友美 西野結希 望月吉広 小松謙太 塩飽麻美 谷地礼子 米良彰子 小林衣枝 能島真由美 岡澤淳一 Parrington Kevin 小林桃代	上岡 隆 信田明子 本多 充 羽後丸訓 竹井若穂 吉野裕子 岡 万樹子 高橋 陸来 紺野君江 高橋 愛美 西岡 玲 チバ ケイコ 西野結希 清浦奎明 クラトミ ナオコ ジンボウ タケオ サコ ヨシユキ タキシタ ヤスタミ 三浦晋哉 田島菜乃 スズキ ヒイズ 芝田まみ	小林えり 今島夕美子 滝下泰民 神田喜崇 鈴木朋子 高島友和 瀬戸理津子 遠藤謙志 石山倫大 浅井陽子 福原正之 高橋沙織 田中哉巖 梅本麦人 斎藤匡哉 上村高子 ハマノ ヒロト 島崎嘉郎 スズキ トミヒロ 柴田真帆 西村亜湖奈 西村さおり 西村房子	入江 亘 熊山陽一 高梨昌幸 原子恵美子 浅井堯之 綱きみ子 奈良岡正志 戸高理恵 熊野泰之 津村賢哉 大上章子 ヒライ ミツエ 林 怜奈 長和翔太 赤根晴子 小谷浩之 有田隆宏 能登 直彦 山本 明 塩飽圭亮 Shibosawa Yasushi 紀平康喜・莉沙 高橋登志美
---	---	--	---	---

○ポスター掲出協力店 ※順不同

※把握しきれていない可能性もございますので予めご了承下さい。

【辻堂】

エッソ国際油化SS
松本商店
センチュリー 2 1
お茶 のり コバヤシ
中萬学院
城門ラーメン 洞洞神
伊勢屋
ブランジュリ・シェファファ
辻堂不動産
からさわ
そら
スリーエフ(辻堂海岸通り)
玉寿司
CHEZ | KZTA
大原
ブティック ひまわり
銀美堂
くすもと動物病院
コージーコーナー
Hanapepe Restaurant Café
リトルマーメイド
豆のはざま
湘南タクトホーム
DAIICHI-IN しょうなん
カマヤ薬局
第一不動産部
SHOP HODOSHIMA
セブンイレブン(熊の森)
グリーン理容
辻堂接骨院
シェリー
カギサン酒店
辻堂犬猫病院
セオサイクル
ミニストップ 辻堂五丁目店
ファッションクリーニング ローレル
泰同門
湘栄建設 湘南中央店
ファミリーマート 湘南東海岸店
インテリア BASE
曾我建設
DUO
さくらやランドリー
ミートショップYAHATA
てのひら
Neo
八起
ひげでん
しらすやガーデン
FCC
嵯峨野
とんかつ大関
波たろう
トロア
味楽菜館
SPROUT
マーボロイヤル
shop my CREW
辻堂海岸「海の家」
みはる
スクールボーイ辻堂海岸店

神奈川地所
TAKE'S
ウェーブ・リブス
TEPEE HEART
アイランズブルー
落合商店
ARC SURFGARAGE
ティーズハウジング
I-MODE-D
イタリア食堂ディエーチ
COGGY 辻堂駅前店
truck-market
Cafe Tiny Zoo
ラーメン南

【鶴沼】

トリムオフ
馬虎記
マツモトキヨシ
セブンイレブン鶴沼海岸5丁目店

【藤沢】

げんや
美容室Com'sHair
Shonan Golf Resort
ムラサキスポーツ藤沢店(OPA)
サイクルショップ「コギー」
さつまや本店
ファイテンショップ藤沢(法華クラブ内)
La Coppet
並木茶屋
安安
湘南中川歯科医院
稲元屋商店
KENJE ぶらうん
いろいろ 藤沢店
夢中
ステラマリス
桑原動物病院
若泉楽器

【片瀬江ノ島】

EAU CAFE shonan
GOLD

【大磯】

杉本

【平塚】

Restaurant Bar ROUTE 58

【横浜】

IS
nail salon natural actress

【湘南台】

ニューオリンズ
シマムラ商会
中国料理 八洲
八百屋GREENS
PEPITA LION
RAMU
TaRe TaRe
CHIFFON'S CAFF
ことぶき屋
マドカフェ
マッドクリーム
Reaps
4 Styleラス

【湘南ライフタウン】

レストラン ボン
ビストロナージュ
餃子ハウス
吉野庵
バリ島手作り家具BALI AN
居酒屋 つる山
アリスの森
ラーメン 円熟屋
いろいろ 湘南ライフタウン店
源平
one peace

【長後】

明石
hair salon LABO
SALON de renoma ViVi
さぼてん
オリジン弁当
浅田屋豆富工業
羽根澤屋
クリーニング ローレル
ドラッグストア SEIMS
さんぼ庵
ロワール光月堂

【茅ヶ崎】

ハヤシスポーツクラブ
ラバズロック
中華料理SYOU FU TEI
ダックテール
手作り料理HANA-MARU
庄や
とり八
焼きとり南風
Etoileエトアール
リビングハウスすずき 鈴木金物店
茅ヶ崎バルスタイル AKATSUKI
クリエイト(常磐町)

【六会】

CANDY POWER
ちょうきち

○募金箱設置協力店（地域別）※順不同、敬称略

【藤沢】	【辻堂】	【湘南台】	【鎌倉】
Cafe Aroma UNDER [V] WEAR SUSY CAFÉ 1LDK 美容室 志帆 AKI'S ITALIAN Free Culture 炉端りあん だのし いろいろ ガレージS.T.M げんや truck-market Hare make rir 喜びの里 warm up sport 松吉家 藤沢本店 松吉家 藤沢南口店 Shonan Golf Resort 江の島ボウリングセンター CIZAバー スナックダイスキ	かさい珈琲 MINAMI CURRY&SOUP Shabby Blue おもて珈琲 いい物件リスト 湘南支店 程島商店 ティーズハウジング I-MODE-D イタリア食堂ディエーチ つじ口接骨院 しらすやガーデン hair design jonafa 一ふじ 湘南彩葉 フローラ shop my CREW 文具ミカモ 立花 中野養蜂園 ハッピー (Luz辻堂内) ハックドラッグ (Luz辻堂内) アール元気 (Luz辻堂内) カルチャーセンター (Luz辻堂内) クシュクシュ (Luz辻堂内) 阿部歯科 (Luz辻堂内) ラック (Luz辻堂内) 鶴沼 CREBar lei pikake 豆のはざま 株式会社日産サティオ湘南 藤沢鶴沼店 セブンイレブン (鶴沼海岸5丁目店)	ことぶき屋 STUDO JAMJAM 【茅ヶ崎】 ハヤシスポーツクラブ BAR WARAC デイリーヤマザキ えにし たけ丸 加納食堂 松吉家 茅ヶ崎店 DINING BAR Pepek アロマココロ 沖縄酒場 茅ヶ崎チャンプルー 広島お好み焼き 杏庵 BAR MAIN らーめん達 そばや 地下達	トリムオフ (@) LeafCafe Boulangerie Lumiere du b 【平塚】 松吉家 平塚店 【横浜】 ゴロ麺 YOKOHAMA 【戸塚】 松吉家 戸塚店 【町田】 ゴロ麺 MACHIDA

○応援して頂いた方からのメッセージ

一部をご紹介します。

すこしずつ、花火の輪が大きくなっていきますことを、
みんなの様々な思いや願いとともに大きくなっていきますことを、お祈りしています。
[30代/女性]

近所のおでん屋さんで初めてポスターを見て、そのうち街のあちこちで目にする機会が増え、
いよいよ実現すると聞いた時は、本当に嬉しかったです！
色々大変だったと思います。山積みの課題に途中凹みながらも1つ1つクリアしてきた企画委員会の皆様のパワーはすごいです！
江の島一鳥帽子一富士山に挟まれた辻堂は最強のパワースポットです。そこで花火大会ができるなんて、すごくうれしいです！
[40代/女性]

湘南地域の花火大会が震災の影響とはいえ全滅で本当につらかったです。
鎮魂の意味もあるという花火大会もあるというのでやっていただけたらと思っていました。
それが地元の学生さんの手によってゼロから始まったと聞いてとてもありがたかったし、応援しようと思いました。
若い方々が頑張ってる、後にも先にもないいい経験をされていることもうれしかったです。
[女性]

まず、「思うこと」は、とっても大事だと思います。
激動の世の流れの中、「思う」時間もなく、流されていくことで終わってしまうことばかり…。
でも、気づいて、ひっかかって、思って、そして、次にすごいのは、人の集まりと、前進していこうという、エネルギーです。
職業柄、言葉ではいろいろ言ってくるのですが、「動く」ことになると、あきらめがつきまとい、はがゆく感じる日々です。
それを打ち破る見事な「花火大会」！何か応援せずにはいられません！！
最高の日への積み重ねと、その名残りを、私も味わわせていただきます。
[小学校教諭/50代女性]

みんなのための みんなでつくる 花火大会☆"
みんなで作るから、意味があるとおもいます。
[会社員/30代/女性]

私の地元は宮城県です。実家はさほど被害はありませんでしたが、今回の震災で他県の人たちにたくさん助けていただきました。地震の影響でとても多くの人々が東北のために動いて下さった上に、夏の大きな楽しみである花火大会がいくつも中止になり、感謝の気持ちと申し訳ない気持ちがありました。

そんな時に「みんなでつくる花火大会」を知り、この夏に花火大会に行けなかったり節電したりと色々な我慢をしていた人たちに楽しんでもらうことのお手伝いが少しでもできればと思います。

〔高校生/10代女子〕

HPを見て、花火をあげようという企画を0からスタートさせたという熱い思いに感動し、少しでもお手伝いできれば・・・と参加を決めました。絶対成功させたいですね!

〔保育士/30代/女性〕

情熱を持って目標を達成する人たちと一緒に出来る事が嬉しいじゃないですか!!

みんなで良いモノ作りましょう!!

〔会社員/20代/男性〕

「誰かが、何かをしてくれる」ということの不確かな時代に、自分たちがやってみようという感じは、とても必要だとおもいます。それが花火だというのは、とても時代的なことだけど、その感覚やセンス、

価値観があらゆる面で来てくれるといいなあと思っています。私にとっては、その初めの活動です。

〔コンサルト関係/60代/女性〕

私は東北のため、日本のため、というわけではなく、自分と自分の周りの人のために花火大会に関わりたいと思いました。

毎年行われていて自分も楽しみにしていたイベントがなくなるのはさみしいし、

大人の都合で子供が楽しみにしていたものを中止してしまうのは勝手すぎるだろうと思います。

なので今年も花火を行うということに意義があると思います。

〔大学生/20代/男性〕

今年、震災の影響で花火大会が中止になったこと、「仕方がないのかな。」と思いつつ、寂しさも感じていました。

生まれ育ったこの場所で、被災地の方々、そして、日本を元気づけられたら、という思いから参加させて頂くことを決めました。

〔幼稚園教諭/20代/女性〕

とても素晴らしい活動だと思います。今年の夏は、色々心残りが多かったのですが、

この花火大会をぜひ見に行き行って夏の思い出にしたいです。

うちの子供たちも、今年は行けないと思っていたのですが、この大会があることを知って大喜びしています。

草の根的な活動ですが、きっと大きな力になると思います。頑張ってください。

〔40代女性〕

とにかく花火が大好きです。

〔会社員/30代/男性〕

今年、多くの花火大会が中止になると聞き、寂しい思いでしたが、「みんなでつくる花火大会」のことを友人から聞き、人の思いや願いがひとつひとつ集まり、そこからみんなで作り上げようとするところ、人とのつながりなどに心が惹かれました。みんなの思いが詰まった花火大会が夜空に打ちあがることを楽しみにしています。

〔保育士/20代/女性〕

今まで花火も何回も見ましたが、自分の手で、みんなの手で、みんなの力が合わせてできた花火は見たことがないです。

見るではない、わたしたちは作るほうです。

見る人のために作ったんです。これは新しい人生体験です。とても素晴らしいと思います。

〔大学生/20代/男性〕

藤沢に住んでいながら、湘南地区の花火大会を一度も見ることがなかったが、

今回の花火は作る側にとっても、見る側にとっても、特別なものになると思います。すこしでも力になればと思い参加します。

〔フリーター/20代/女性〕

辻堂へ引っ越して来て9年になります。

毎年、茅ヶ崎、藤沢、鎌倉、で開催される花火大会は、会場へ足を運ぶことはありませんでしたが、

遠くから見たり、音を楽しんでいました。今年は見ることも音も聞くことなく、なんだかさみしいと思っていました。

そんな時、「みんなでつくる花火大会」を知り、花火を見たいの、聞きたいと思うのと同時に、地元の活動に参加出来たらと思いました。

多くの地元の方に、花火を楽しんでもらえたら嬉しいです。

〔会社員/30代/女性〕

前にどこかで花火大会を作ろうとしている大学生の話見ていました。

でもその後見なかったのがやっぱり無理だったんだって思っていました。

海外に行っている娘から聞いて話が進んでいたこと、実現すること知りました。

当日は仕事があっとお手伝いすることも見ることも出来ないけれど応援しています。

頑張ってください！雨が降らずに事故もなく無事に終わることを祈っています。

花火好きだけどなかなか見に行かれないおばさんより

〔50代/女性〕

みんなで作る花火大会2011

(活動本拠地：神奈川県藤沢市 大会開催場所：辻堂海岸)

会計報告書

2011年5月20日～10月31日

収 入		
費目	内訳	金額
協賛金	企業・店舗様からの協賛	¥2,460,000
個人寄付金	個人の方からの寄付金	¥1,072,939
豚の募金箱	皆様からの募金	¥330,377
合計		¥3,863,316

支 出			
費目	内訳	詳細	金額
花火	花火	花火製作・打ち上げ代、玩具花火代	花火師と企画委員が上げた花火代金 ¥776,809
警備	警備	警備費用	警備会社への警備委託費用 ¥603,750
海岸占用	海岸占用	海岸占用料	神奈川県へ支払う海岸使用料 ¥635,004
企画運営	事務所	家賃	企画事務所家賃(水道代含) 株式会社内田商店様より無償で提供して頂きました。 ¥0
		電気代	企画事務所電気代 ¥18,801
	通信	郵便料金	協賛金依頼、御礼状送付 ¥53,940
		サーバー代	HPサーバー利用料 ¥2,110
		電話、インターネット	電話、インターネット利用料 ¥91,611
	広告宣伝	ポスター製作代	ポスター製作用のラミネーター(フィルム含)購入費 ¥18,250
	施設利用	公民館等使用料	ミーティング、説明会、当日控室として利用 ¥4,150
	申請	煙火申請、証紙	煙火申請、公函代金 ¥10,060
	消耗品	文具、紙、テープ、募金箱等、	利用した文具、募金箱購入代金 ¥44,700
	交通	交通費	行政や企業との打合せ、申請、花火購入時の交通費 ¥31,507
印刷	コピー機リース代、利用料等	複合機リース、利用代金 ¥140,402	
その他	その他の雑費	企画事務所の合鍵作成費用 ¥2,520	
当日運営	スタッフ	Tシャツ	当日スタッフ着用Tシャツの製作代金(180人分) ¥191,548
		スタッフバッチ	当日スタッフ利用バッチ代金(50人分) ¥1,260
		飲料水	当日スタッフ用飲料水(180人分) ¥13,162
	清掃	清掃費用	当日、翌日会場清掃のゴミ処理費用 有限会社服部商店様の協力により焼却費用以外無償で提供して頂きました。 ¥13,860
	会場設営	レンタル費用(機材、車両)	バリケード、カラーコーン、レンタカー(燃料費)等 ¥18,280
		投光器、看板、懐中電灯、消化器	会場に設置した照明、看板の製作費、懐中電灯、消化器の購入費用 ¥47,178
保険	損害保険料	本大会運営に対する保険代 ¥64,390	
合計			¥2,783,292

残金	
収入-支出	¥1,080,024

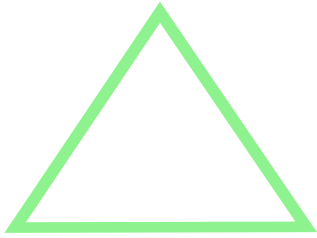
みんなで作る花火大会2012 開催経緯

2012年、みんなで作る花火大会は宮城県女川町において、迎え火という慰霊イベントのなかで花火を打上げました。2011年、辻堂で実施した「みんなで作る花火大会」は湘南で唯一の花火大会という事で予想以上に喜んで頂く事ができました。そして2012年、手元には昨年の花火大会では許認可の関係上どうしても使い切れなかった資金と花火大会をつくりあげた仲間がいました。みんなで作る花火大会へ寄せられた資金は文字通り、みんなの“思い”のこもったお金。どういった使い方をするのがその思いに応えられるのか。湘南での花火大会が軒並み復活した今、自分たちに何ができるのか、何をすべきなのか、包み隠さず正直に言えば時には感情的になりながらも徹底的に話し合いました。そして最後は、やはり私たちの活動の発端となった震災、被災地である東北へ思いは向きました。縁あってメンバーが女川へボランティアとして赴く機会があり、これが発端となってできた住民、町役場、観光協会の方々との繋がりから、女川での開催を検討し始めました。

「ぜひやって欲しい」

熱い眼差しでこのお言葉を頂いた瞬間、昨年の活動を思い起こすと同時に女川での開催が決まった気がしています。もともと女川町では毎年みなと祭の中で盛大な花火が恒例で行われており、花火に対して特別な思い入れを持つ町民の方が少なくないとの事もあり、これも原動力のひとつとなりました。準備を進める段階においては、みんなの花火という東京を拠点にする花火打上げボランティアチームのお力も借り、共同で企画を進めさせて頂く事に。着々と女川の方々調整を進め、女川では今年初めて実施されるというお盆の「迎え火」のなかで花火を打上げる事になりました。同時に、湘南の方々の想いを届けたいという想いから、手作りキャンドルによるキャンドルメッセージも実施致しました。花火打ち上げの際にアクシデントがあり多くの方にご迷惑をおかけしたにもかかわらず、女川の方々には優しい労いの言葉をかけて頂くと同時に大変喜んで頂くことができました。その後もさんま祭りのボランティアなど女川町との繋がりも続いております。

女川町ってどんなところ？



自然豊かな女川



視察の際に頂いた海鮮丼。
プリプリで甘くてものすごく美味しかったです！

女川町の花火大会

毎年みなと祭りの際に行われていた。

約4,300発もの花火が打ち上がり、水上スターメインやナイアガラの滝といった迫力ある演出が行われていた。女川の方々にとって花火はとても思い出深いものであり、湘南の皆さんに花火に様々な想いがあるように、女川の方にとっても特別なもののようです。



○震災前と震災後の女川

震災前

2011年2月における女川町の人口と世帯数

人口：10,016名

世帯数：3852

※女川町のHPより



震災後

2012年9月現在の女川町の人口と世帯数

人口 8,153

男性 4,007

女性 4,146

世帯数 3,436

※女川町のHPより

実際に住んでいる方の数は
2,000人とも言われています。



○女川の今



「きぼうの鐘 商店街」

女川の人々の働く場
物産売り場
観光地
交流の場

として機能しています。



「うみねこハウス」



2012年5月にOPEN

女川のおばあちゃん達が古着で布草履を作成しています。
地域内のコミュニティーとしても機能しています。

この他にも様々な方々が復興に向けてがんばっています!!

活動内容

● キャンドルメッセージ

湘南の皆様から頂いた瓶に、湘南からのメッセージを書いて頂き、そこにロウを入れ手作りキャンドルに。そして、そのキャンドルを使って『おかえりなさい女川』という迎え火のメッセージを女川の町に灯しました。



● 打ち上げ花火

女川での打ち上げ花火は、東京のボランティア団体「みんなの花火」と共同で打ち上げました。一発一発それぞれの想いを込め、手打ちで打ち上げました。アクシデントもありましたが、女川町の方々には、暖かいお言葉を頂き喜んで頂く事が出来ました。



○協力

- ・女川観光協会、女川町役場、女川消防署、その他行政の方々
- ・ママサポーターズ、女川おちゃっこクラブ、対話工房、REAL eYEなど女川町の住民の方々
- ・港湾関係者の方々
- ・湘南地区の住民の方々
- ・みんなの花火（共同実施）

みんなで作る花火大会2012

(活動本拠地：神奈川県藤沢市 大会開催場所：宮城県女川町)

会計報告書

2012年4月1日～9月30日

収 入		
費目	内訳	金額
前年残金	みんなで作る花火大会2011 (辻堂) の残金	¥1,085,344
利息	預金利息	¥150
合計		¥1,085,494

支 出				
費目	内訳	説明	金額	
花火運営	花火及びキャンドル	花火制作、キャンドルメッセージ制作	花火打上げ、キャンドルメッセージにかかった費用 合計503,524円を「みんなの花火」と折半	¥251,762
	講習費用	煙火保安手帳講習	煙火(花火玉)を扱うための講習費用(2人分)	¥20,000
	宿泊・食費	宿泊費	花火大会当日の現地宿泊費用(15人分)	¥78,000
	車代	レンタカー	花火大会前日、当日、翌日(3日*2台分)	¥56,700
		ガソリン(往復)	花火大会前日、当日、翌日(3日*3台分)	¥35,139
		駐車代	花火大会当日の駐車場代(1台分)	¥1,300
		高速代金(往復)	藤沢～女川の往復高速代金(3台分)	¥43,850
保険	保険(ボランティア保険)	参加スタッフ保険代金(13人分)	¥7,800	
小計			¥494,551	
企画運営	下見費	下見費	開催前に実施した下見に要した交通費(のべ7人分)	¥81,640
	通信費	通信費(電話・ネット)	電話代、事務所通信費	¥23,358
	光熱費	電気代	事務所電気代	¥10,000
	広報	WEBサーバ	HPのサーバ代金	¥12,000
		報告書印刷・郵送	女川花火の報告書等の郵送費	¥20,752
	交通費	交通費	企画運営で利用した交通費	¥29,840
	会議費	会議、打合せ費用	会議、打合せで利用した施設利用料等	¥9,800
その他	医療費	女川花火後の通院費(2人分)	¥17,320	
	雑費	その他、物品購入費等	¥41,434	
小計			¥246,144	
合計			¥740,695	

残 金		
収入-支出		¥344,799

備考

今夏実施した宮城県女川町での花火は「みんなの花火」という東京のボランティアチームと共同で実施致しました。

感謝祭開催経緯

震災後の混乱の中、「今こそ花火」という思いで中止が決定した花火大会を取り戻せないかと個人的に動き始めました。当初は例年の主催団体に対し、なんとか中止を撤回できないものかと説得を試みる日々でしたが、決定を覆すには到底及びませんでした。

また、例年の花火大会は観光向けの色が強く、私たちが目指したものは地元向けのもの、地域を元気にしたいという思いに基づくものでした。そこで、地域みんなのためにやる花火大会、地域みんなの力を集めれば実現できるのではないか、地域の想いは同じなのではないか、と「みんなでつくる花火大会」という企画を立上げました。

当初はうまく行くのかどうか不安ばかりでしたが、終わってみれば地域から本当にたくさんの方が集まりました。「がんばって」というみんなの言葉が「がんばろう」という言葉に変わった瞬間、本当の意味で、みんなでつくる花火大会になったと感じる事ができました。

中心となって企画を進めたメンバー、募金や協賛をして頂いた地域の方々に企業や店舗、大会当日、翌日のスタッフ、ポスター貼りに募金箱設置などにも本当に多くの方が参加して下さいました。また、辻堂の翌年に実施した女川での花火打上げでは他の団体との共同実施も実現しました。

2年間にわたり「みんなでつくる花火大会」を実施する事ができたのは皆様のご支援、ご協力の賜物でした。それに対する感謝の気持ちがとても強く、なんとか感謝を伝えたいという思いがありました。そんな思いから感謝祭として、地元辻堂での地引網とBBQを開催致しました。

活動内容

地引き網&BBQ

地引き網では湘南名物のしらすや海の幸を、BBQではみやじ豚や湘南で収穫された野菜などの地元の食材や、「女川さんま祭り」で頂いたさんまをみんなで調理し、いただきました。

もちろん感謝の意味合いもありましたが、それ以外にもこの感謝祭を機会に地域の魅力に気付いていただいたり、普段関わりのない人達との交流ができたりと、皆様のおかげで非常に実りの多い感謝祭となりました。



**みんなでつくる花火大会を応援して下さいました
2年間ありがとうございました**



みんなで作る花火大会2012

(活動本拠地：神奈川県藤沢市)

会計報告書

2012年10月1日～11月30日

収入			
費目	内訳		金額
繰越金	みんなで作る花火大会(女川) 残金		¥ 344,799
保険金	ボランティア保険保険金		¥ 9,000
感謝祭参加費	83名×500円		¥ 41,500
合計			¥ 395,299

支出				
費目	内訳	説明	金額	
企画運営	旅費	旅費	花火打上状況について事後調査のため 石巻、女川へ(2名×2泊3日)	¥ 61,560
	事務所	光熱費等	ネット回線、光熱費、水道等	¥ 30,000
	通信	サーバー	写真共有サービス	¥ 576
	その他	雑費	振込み手数料、備品等	¥ 1,365
小計			¥ 93,501	
感謝祭	飲料	飲料	感謝祭時の飲料	¥ 75,784
	食料	食品	感謝祭時の食料(BBQ)	¥ 63,448
	備品	備品	プロパンガス、BBQ用具、名札等	¥ 12,596
	地引網	地引網	地引網費用	¥ 114,000
	車代	レンタカー	w	¥ 21,200
		ガソリン		運営車(4台分)
		駐車場		運営車(3台分)
ゴミ処理	ゴミ処理	感謝祭のゴミ処理費用	¥ 525	
小計			¥ 301,884	
合計			¥ 395,385	

残金		
収入-支出		¥ -86

みんなで作る花火大会

概要

名称	みんなで作る花火大会企画委員会
代表	塩飽 圭亮
活動目的	花火で人と街を活気づける
活動内容	みんなで作る花火大会2011・2012
活動資金	全国から寄せられた寄付金・協賛金・募金
設立日	2011年（平成23年）5月20日

<https://sites.google.com/site/civilhanabi2011/>

Twitter : @our_hanabi

Facebook : みんなで作る花火大会